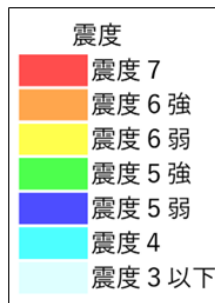


### 1. ハザード評価

#### (1) 地震動

【L2】理論上最大クラス

【L1】過去最大クラス



<震度別面積割合>

(参考) 総面積 = 206.5km<sup>2</sup>

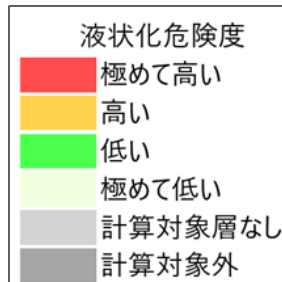
震度	【L2】理論上最大クラス		【L1】過去最大クラス	
	面積 (km <sup>2</sup> )	割合	面積 (km <sup>2</sup> )	割合
7	2.9	1%	0.0	0%
6 強	131.6	64%	0.5	1%未満
6 弱	66.9	32%	122.3	59%
5 強	5.0	2%	83.7	41%
5 弱	0.0	0%	0.0	0%

※震度別面積の合計は、四捨五入により総面積と一致しない場合があります。

#### (2) 液状化

【L2】理論上最大クラス

【L1】過去最大クラス



<液状化危険度別面積割合>

(参考) 総面積 = 206.5km<sup>2</sup>

液状化危険度	【L2】理論上最大クラス		【L1】過去最大クラス	
	面積 (km <sup>2</sup> )	割合	面積 (km <sup>2</sup> )	割合
極めて高い	52.8	26%	47.8	23%
高い	6.6	3%	7.2	4%
低い	3.2	2%	4.6	2%
極めて低い	15.6	8%	18.6	9%
計算対象層なし 計算対象外	128.3	62%	128.3	62%

※液状化危険度別面積の合計は、四捨五入により総面積と一致しない場合があります。

### 1. ハザード評価

#### (3) 沿岸最大津波高

L2	L1
4m	3m

#### (4) 沿岸津波到達時間

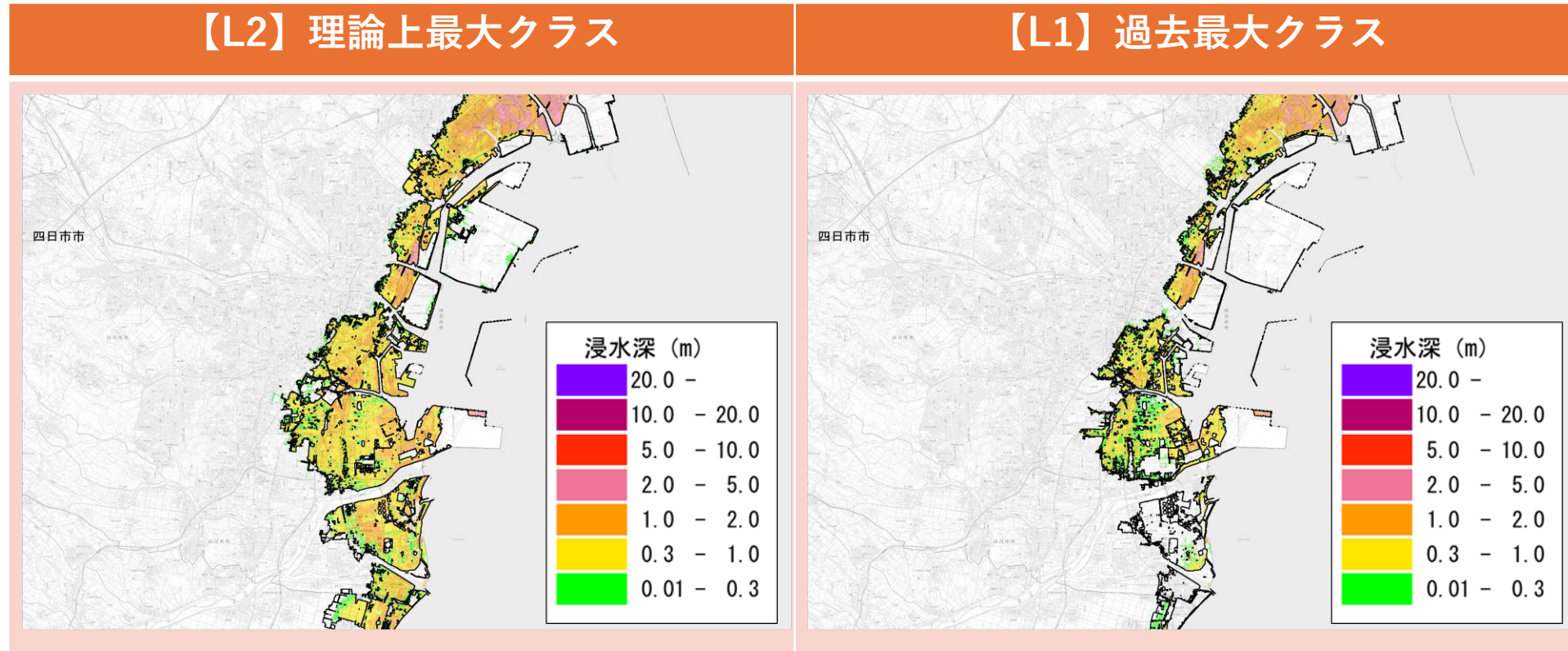
L2	L1
70分	71分

※沿岸で1mの水位変動が発生するまでの最短の時間

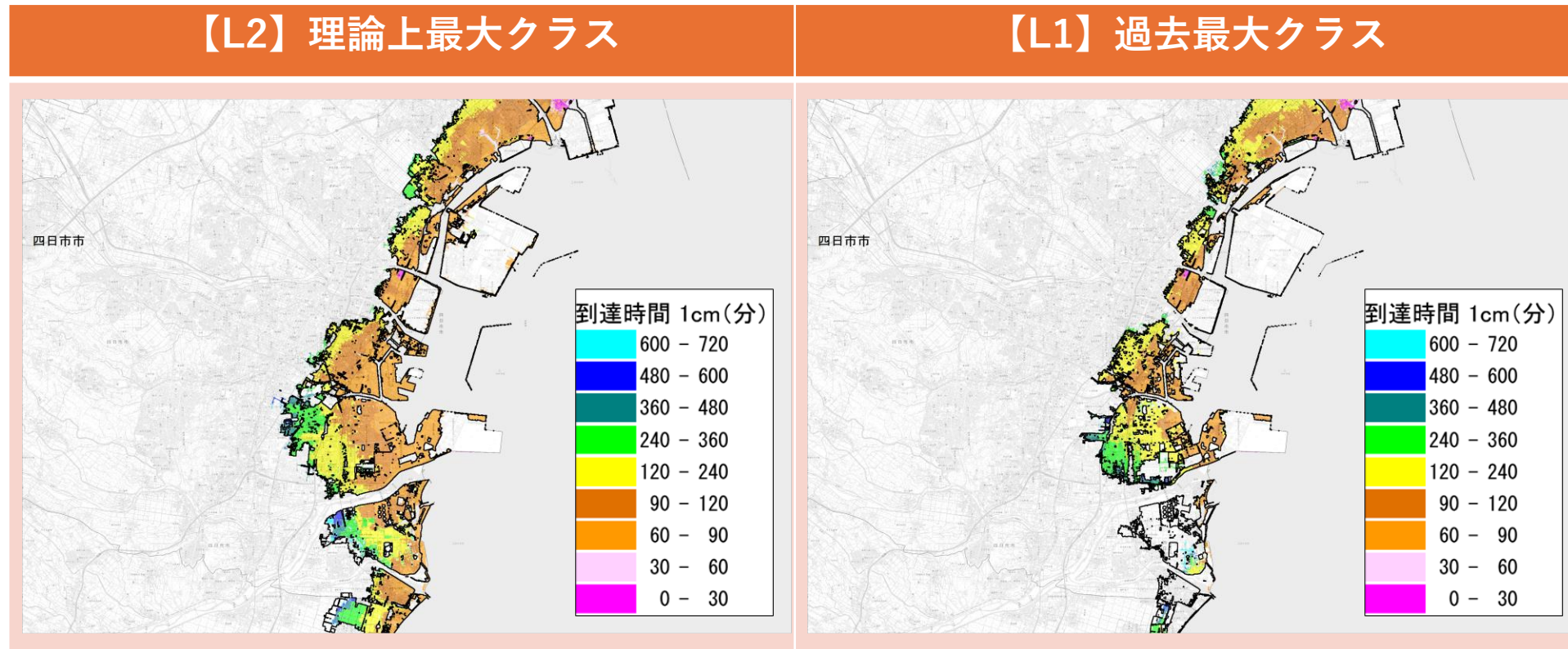
#### (5) 津波浸水面積

L2	L1
1,960ha	1,131ha

#### (6) 津波浸水深



#### (7) 津波浸水深到達時間 ※陸上で1cmの浸水が発生するまでの時間



### 2. リスク評価

#### (1) 人的被害

※L2の死者数は津波ケース⑨の推計結果

※季節・時間帯：冬・深夜

※津波からの早期避難者比率が低い場合

定量評価項目	L2	L1
死者数（人）	約1,800	約200
うち建物倒壊等	約1,000	約70
うち津波	約700	約100
うち急傾斜地崩壊等	約30	-
うち火災	約40	-
うちブロック塀 ・自動販売機転倒 および屋外落下物	-	-
重傷者数（人）	約2,100	約200
軽傷者数（人）	約4,900	約1,300
建物倒壊等による 自力脱出困難者数（人）	約4,900	約500
津波被害による 要救助者数（人）	約500	約200
津波被害による 要捜索者数（人）	約600	約200

#### (2) 建物被害

※L2の全壊・焼失棟数は津波ケース①の推計結果

※季節・時間帯：冬・夕方

定量評価項目	L2	L1
全壊・焼失棟数（棟）	約25,000	約2,900
うち揺れ	約20,000	約1,600
うち液状化	約900	約900
うち津波	約700	約500
うち急傾斜地	約200	約20
うち火災	約3,700	約10
半壊棟数（棟）	約33,000	約18,000
うち揺れ	約22,000	約7,700
うち液状化	約3,300	約4,100
うち津波	約6,600	約6,600
うち急傾斜地	約600	約60
ブロック塀等の 転倒数（件）	約3,500	約800
自動販売機の 転倒数（件）	約100	約60
屋外落下物の 発生数（件）	約3,200	約20

#### (3) 火災被害

※季節・時間帯：冬・夕方

定量評価項目	L2	L1
炎上出火件数（件）	約40	-
残火災件数（件）	約30	-
津波火災発生件数（件）	約10	約10

#### 概観（理論上最大クラス）

##### 【ハザード評価】

広い範囲で震度6強以上となり、平野部では液状化が発生します。また、地震からおおむね90分後以降に津波の浸水が生じます。

##### 【リスク評価】

揺れによって市全体の約1割の建物が全壊することで、死者の約6割が建物倒壊等により亡くなり、さらに多くの自力脱出困難者が発生します。また、死者の約4割が津波で亡くなります。

※「-」：わずか（5未満）

※端数処理のため、合計が各数値の和に一致しない場合がある。